

製品名: Sp2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18150**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	SP2
別名	SP2; KIAA0048; Transcription factor Sp2
遺伝子 ID	6668.0
SwissProt ID	Q02086
免疫原	抗血清はヒト SP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

背景

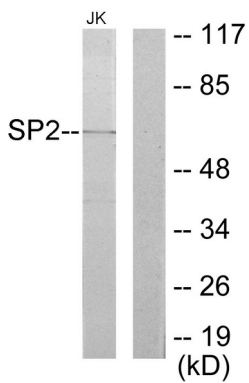
この遺伝子は、Sp/XKLF 転写因子の Sp サブファミリーのメンバーをコードします。Sp ファミリータンパク質は、アミノ末端トランス活性化ドメインと 3つのカルボキシ末端ジンクフィンガーモチーフを特徴とする配列特異的 DNA 結合タンパク質です。このタンパ

ク質は、Spサブファミリータンパク質の中で最も保存性の低いDNA結合ドメインを有し、そのDNA配列特異性は他のSpタンパク質とは異なります。主に核マトリックスに関連する核下フォーカス内に局在し、異なるプロモーターからの発現を活性化したり、場合によっては抑制したりすることができます。[RefSeq提供、2008年7月]、機能：GCボックスプロモーターエレメントに結合し、機能認識部位を含む遺伝子からのmRNA合成を選択的に活性化します。、類似性：Sp1 C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。、類似性：3つのC2H2型ジンクフィンガーを含みます。、

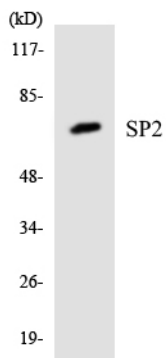
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達；転写；ドメインファミリー；ジンクフィンガー；転写因子；クロマチン結合タンパク質；DNA/RNA結合

画像データ



SP2抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SP2抗体を使用した293細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。